

『Wizardry Variants Daphne』が盤石に。

ハイライト

ドリコムは 2026 年 7 月 29 日引け後に「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算」を発表した。主力タイトルの収益性が盤石になりつつあることを示しており、ポジティブな印象だ。自社 IP「Wizardry」の着実な拡大をベースに、IP 創出・育成を進める局面に移行した、と言える。成長戦略実現に向けた具体的な施策・KPI の開示も一歩前進した。

2027 年 3 月期 第 1 四半期決算概要：

『Wizardry Variants Daphne』が引き続き堅調

ドリコムは 2026 年 7 月 29 日引け後に「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算」を発表した。微減収、黒字回復である。会社の予想を上回る推移となった模様だ。

売上高 4,355 百万円（前年同期 4,466 百万円）、営業利益 522 百万円（同マイナス 81 百万円）、EBITDA 786 百万円（同 347 百万円）、経常利益 512 百万円（同マイナス 107 百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益 323 百万円（同マイナス 1,799 百万円）となった。

売上高の面では、主力ゲームタイトルの好調な推移とコンテンツ事業の増収が、前期末の子会社売却に伴う減収要因をほぼ打ち消した。

損益面では、自社配信タイトル『Wizardry Variants Daphne』においてイベントの運営精度が向上しコアユーザーのエンゲージメントが堅調に推移しており（四半期売上高推移は 21.6 億円→24.8 億円→23.0 億円→20.5 億円→ 30.8 億円→23.1 億円→26.2 億円）、さらに決済手数料率の低下、不採算タイトルの収益改善などがゲーム事業の収益性を大幅に回復させた。第 1 四半期の進捗は想定よりも良かった模様だ。バランスシートは前期末と同様ネットキャッシュポジションで健全だ。



Key Statistics

主要株価指数

直近株価 (2026/7/29)

¥446.00

52 週高値・安値

¥515.00/¥372.00

発行済株数（除く自己株式）

28,665,717 株

時価総額

12,785 百万円

PER (会社予想)

21.2 倍

PBR

2.5 倍

PSR (会社予想)

0.7 倍

配当（配当利回り）

¥5.00(1.12%)

セクター

情報通信

財務指標 (2027/03 期予想)

売上

18,000 百万円

売上高営業利益率(%)

5.6%

売上高 EBITDA 比率(%)

10.8%

Management

President

内藤 裕紀

URL

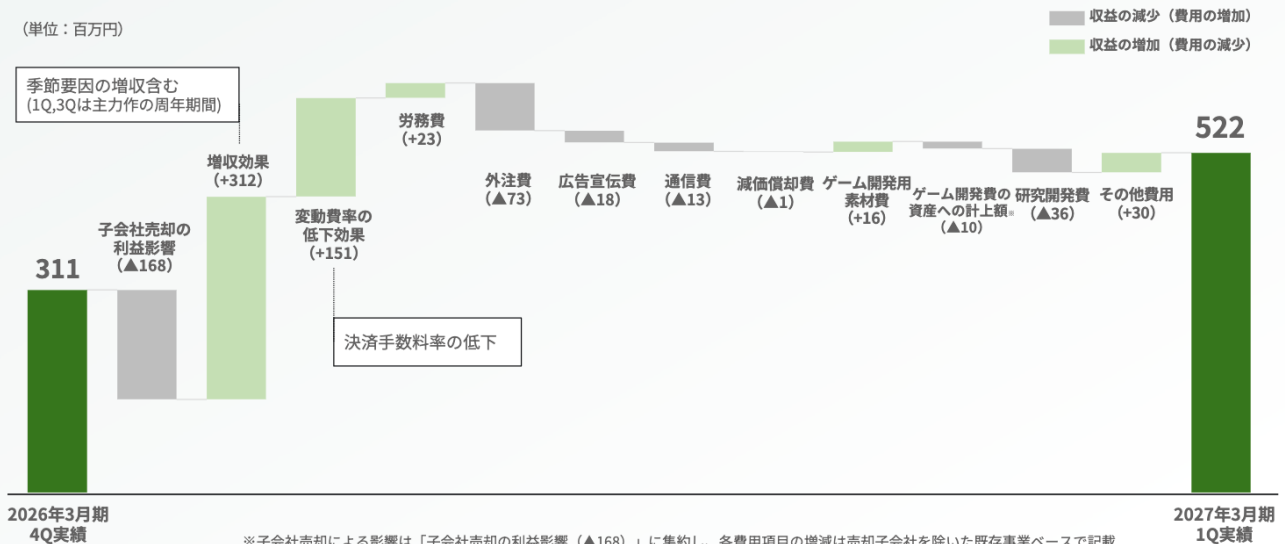
<https://drecom.co.jp/>

2027年3月期 1Q 営業利益 前四半期差異



前4Q比では、周年施策による増収と決済手数料率の低下を主因として増益

(単位：百万円)



Copyright Drecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

6

出所：会社資料「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料」

成長戦略の布石を打つ

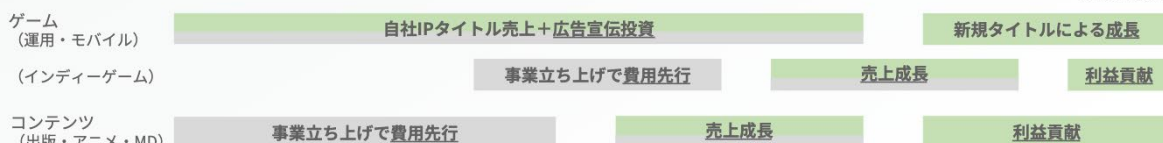
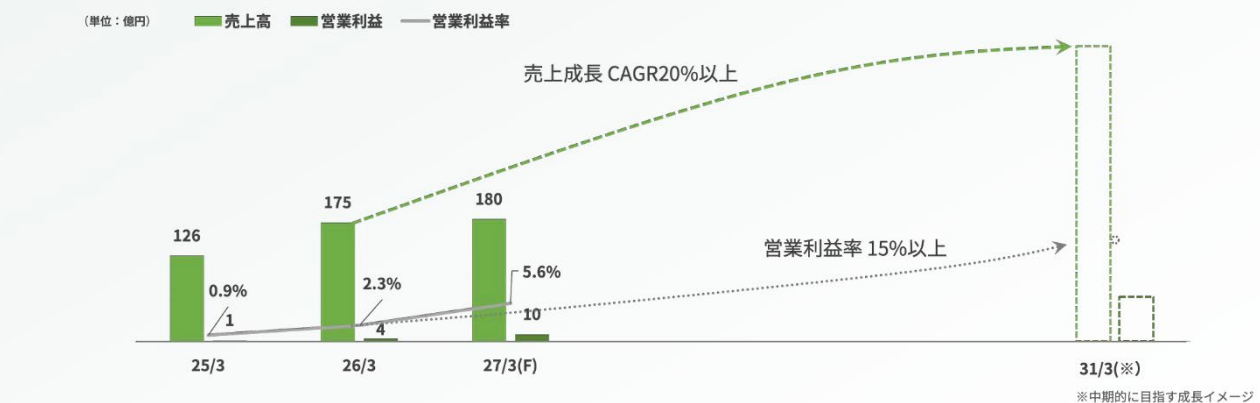
同社は 2031 年 3 月期までに「自社 IP の経済規模を拡大しつつ、継続的に IP を創出・育成する仕組みを構築する」というビジョンを掲げ、売上高成長 CAGR20%、営業利益率 15%以上を目指している。

中期的に目指す成長と2027年3月期の進捗イメージ



持続的な売上成長による規模拡大を目指し、既存事業の効率化による収益性向上と、必要な領域への投資

(単位：億円)



Copyright Drecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

12

出所：会社資料「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料」

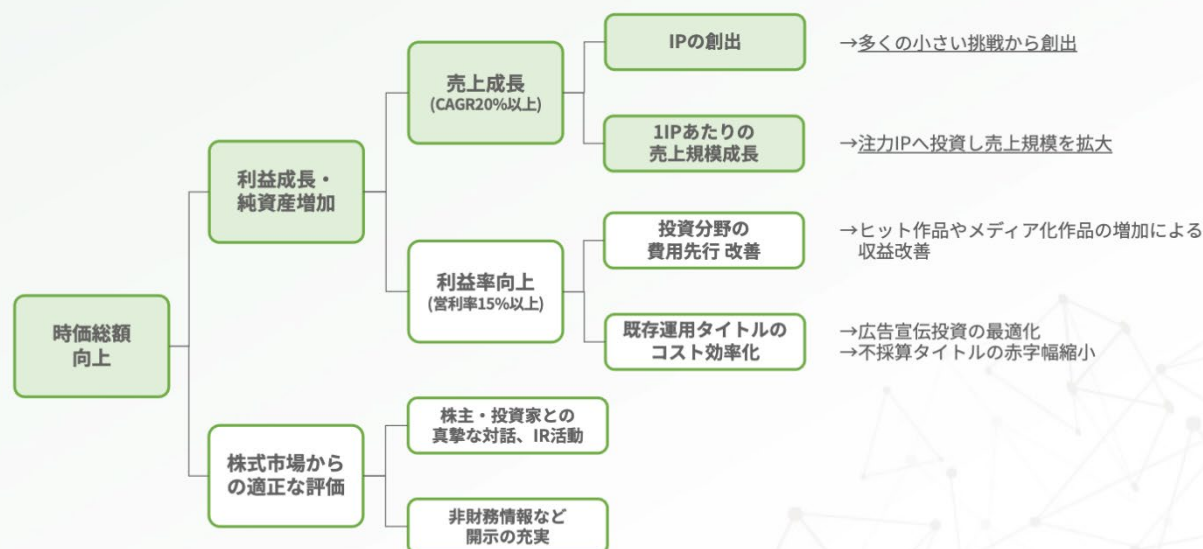
この四半期決算では主力タイトルの盤石化が進み、手元現金も潤沢であることが示されているが、株主・投資家の関心は今後の成長戦略の具体策にある。これに対して、同社は以下のような回答を示した。今回の決算発表の重要ポイントである。

1. 同社はその将来像を“複数の IP 経済圏を抱える事業体”であるとし、これに基づく企業価値評価を目指している。
2. 同社は営業利益率 15%に対するコミットメントを改めて示した。タイトル運用の費用対効果の最適化、AI の活用による業務効率化、決済手数料率の最適化（引き下げ）などによって収益率重視の効率運営を推進する予定だ。
3. 「Wizardry」IP の拡大のため、2026 年 7 月 30 日から 9 月 10 日まで『ファイナルファンタジー-XI』とのコラボを実施する。これによって『Wizardry Variants Daphne』のユーザーを増やし、今秋の 2 周年施策につなげていく目論見である。
4. IP 創出を目的にインディーゲームスタジオ『DRECOM CREATORS STUDIO』を創設した。同社は社外クリエイターに対して開発から長期的な IP 展開まで一貫支援をすることで、リスクをコントロールしながら新規 IP を確保すると同時に、ゲーム開発のノウハウ強化も進めていく。反響も大きいとのことである。
5. IP 創出について、投資金額と目標作品数の KPI を開示しはじめた。成長にむけたキャッシュアロケーションを示したことになる。今後は、その配分と成果についてより深い議論ができるようになるはずである。

中期的に目指す成長におけるKPIイメージ



中長期の成長において、IPの創出と1IPあたりの売上規模成長を重要KPIと設定



Copyright Drecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

出所：会社資料「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料」



中期的に目指す成長におけるKPI -IPの創出 作品数-

領域	項目	累計数値の進捗			
		26/3 期末	→	27/3 1Q末	27/3 期末目標
インディーゲーム	発売済本数	1本	+0本	1本	3本
	開発中本数	2本	+0本	2本	5本
	(参考) 投資金額		+39百万円		+295百万円
ノベル	シリーズ作品数 =1 巻目刊行点数	51シリーズ	+2シリーズ	53シリーズ	74シリーズ
	(参考) 投資金額		+18百万円		+119百万円
コミック	シリーズ作品数 =1 巻目刊行点数	23シリーズ	+7シリーズ	30シリーズ	52シリーズ
	(参考) 投資金額		+61百万円		+490百万円

※インディーゲームには小〜中規模で開発する または 社外クリエイターと協働する売切型PC・コンソール向けタイトルを含む
 ※インディーゲームの投資金額は研究開発費、ノベル・コミックの投資金額は統刊含む刊行の製造費用（仕掛品計上額）

Copyright Drecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

18

出所：会社資料「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料」

今後の注目点：通期業績予想の上方修正はあるか？

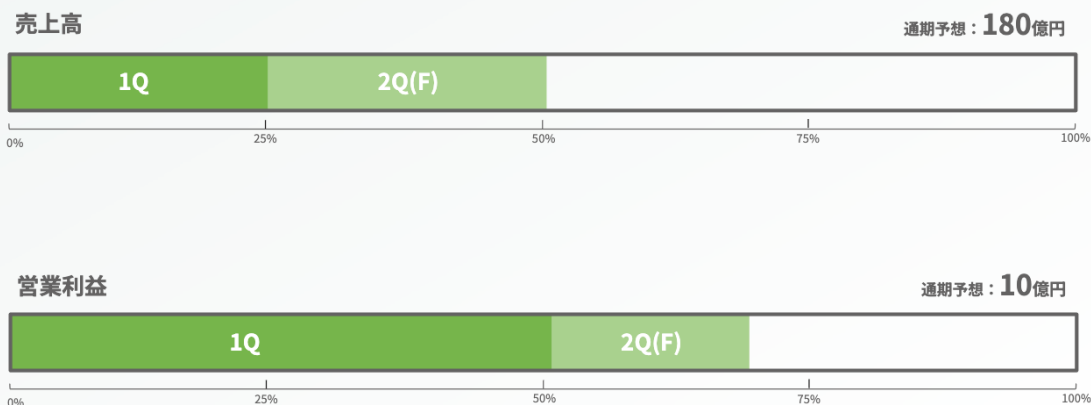
第 2 四半期の会社予想は以下の通りである。売上高は第 1 四半期と同水準となることを想定しているが、営業利益は『Wizardry Variants Daphne』のコラボ費用が高むことなどから営業利益の伸びは減速する見通しである。

ただし、コラボ等の施策が奏功すれば『Wizardry Variants Daphne』のユーザーが増加し、第 3 四半期の 2 周年施策につながるはずだ。この影響は第 2 四半期決算発表の時点で明確になっているはずであり、場合によっては通期業績見通しの修正の可能性もありうる。『Wizardry Variants Daphne』がさらにステージアップするのか、注目を続けたい。



2027年3月期 2Q進捗イメージ

2Qは『Wizardry Variants Daphne』にて他社IPコラボ実施、「Wizardry」認知の拡大へ広告宣伝を強化



出所：会社資料「2027 年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料」

財務データ（連結：四半期毎）

損益計算書（百万円）

決算期	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	FY03/2026	FY03/2027 Q1	FY03/2027 通期会予
売上高	10,528	10,800	9,779	12,655	17,547	4,355	18,000
前年比	-11%	3%	-9%	29%	39%	-3%	3%
売上総利益	3,796	4,558	3,404	3,477	5,430	1,580	-
前年比	-5%	20%	-25%	2%	56%	23%	-
売上総利益率	36.1%	42.2%	34.8%	27.5%	30.9%	36.3%	-
販売費および一般管理費	2,205	2,276	2,501	3,365	5,021	1,057	-
前年比	13%	3%	10%	35%	49%	-22%	-
営業利益	1,591	2,281	903	112	409	522	1,000
前年比	-22%	43%	-60%	-88%	265%	黒字化	145%
営業利益率	15.1%	21.1%	9.2%	0.9%	2.3%	12.0%	5.6%
経常利益	1,541	2,192	793	53	319	512	900
前年比	-24%	42%	-64%	-93%	498%	黒字化	182%
当期純利益	807	1,159	104	-1,035	213	323	600
前年比	-50%	44%	-91%	-	-	黒字化	181%
当期純利益率	7.7%	10.7%	1.1%	-8.2%	1.2%	7.4%	3.3%

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに NexIR 作成

Note：会予＝会社予想。百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 *NexIR の計算による

一株当たりデータ (連結)

決算期	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	FY03/2026
発行済株式総数(千株)	29,073	29,130	29,224	29,340	29,446
EPS	28.3	40.7	3.6	-36.1	7.4
EPS 調整後	28.3	40.6	3.6	-36.1	7.4
BPS	159.1	195.7	196.3	162.5	172.3
DPS	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0

キャッシュフロー (百万円)

決算期	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	FY03/2026
減価償却費	537	269	145	526	1,168
営業活動によるキャッシュフロー	1,603	2,666	-473	634	2,197
投資活動によるキャッシュフロー	-1,766	-2,017	-2,048	-899	1,867
財務活動によるキャッシュフロー	-388	659	2,413	-1,739	-1,618

財務データ (%)

決算期	FY03/2022	FY03/2023	FY03/2024	FY03/2025	FY03/2026
総資産経常利益率(ROA)	16.0	20.0	6.0	0.4	2.5
自己資本利益率(ROE)	19.4	22.9	1.9	-20.1	4.4
自己資本比率	46.9	45.6	39.7	34.6	42.0

出所：会社有価証券報告書および会社 IR 資料をもとに NexIR 作成

Note：百万円以下四捨五入、小数第二位四捨五入 *NexIR の計算による

免責事項

本レポートは、掲載企業のご依頼により NexIR 株式会社（旧社名：株式会社グローバルアイアール）が作成し、対価として報酬を得ています。役員、執筆者であるアナリストは対象会社の有価証券に対して何らかの取引を行っている可能性あるいは将来行う可能性があります。

本レポートは、情報提供のみを目的としており、当該企業株式への投資勧誘や推奨を意図したものではありません。

本レポートに記載されている情報及び見解は、NexIR 株式会社が信頼できると判断した情報源から得、または公表されたデータに基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。しかしながら、正確性、客観性を重視した分析を心がけ、最終的な中立性・独立性には最善の注意を払っています。また、当該企業経営者等とのディスカッション、および独自のリサーチに基づき、我々が投資家にとって重要と思われる視点を NexIR 株式会社のオリジナル・オピニオンとして提供しています。NexIR 株式会社は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。当該企業株式への最終的投資判断はあくまでも自己の判断・責任でお願いします。



東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティ W22F

info@nexir.jp